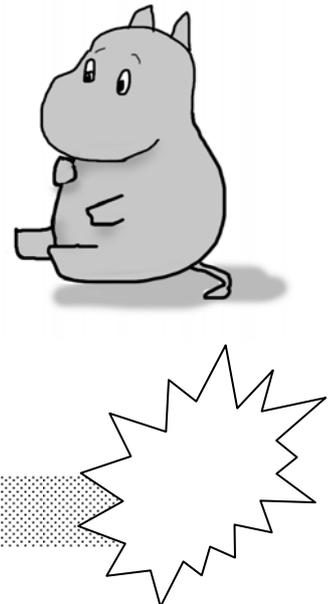


女性センター ニュース

宮城一般労働組合女性センター 2007年6月 35
仙台市宮城野区小田原金剛院丁 78-2 金剛院丁 S S ビル 022-293-3267 E-mail: zzmrouso@theia.ocn.ne.jp

メーデー会場に
5月1日 ムーミン谷から
“9条を守ろう！”の声があびいた

第78回メーデーの中央会場にムーミン一家が登場！「平和を守ろう」「憲法を守ろう」「戦争をする国にしないで！」と、旅人スナフキンもミイちゃんも、ムーミンと一緒に声を上げアピールしました。元氣よく行進もし、今年も堂々の入賞です。



「改憲手続き法案」 自・公により採決

改憲手続き法案の強行採決に強く抗議する(声明)
5月、自民党・公明党の多数により「改憲手続き法案」が国会を

通ってしまいました。紛争は“和的解決”でという世界の流れの中、日本は「戦争をする国」へと行こうとしています。

しかし、“憲法守れ”の闘いはこれからが本番です。私たちが“ノー”といえれば会見できないわけですので、私たちの子供や、孫が悲惨な戦争の犠牲とならないよう、夏の参議院選挙では私たちの要求を託せる人を選び「憲法改悪ノー」といしましょう。

全国一般 大木中央執行委員長

本日、参議院本会議において改憲手続き法案を自民党・公明党は強行採決した。過去の戦争の反省から、日本は一度と戦争をしない戦争で人を殺す事も殺される事もないことを誓った日本国憲法。この日本国憲法施行六十年にあたる今年、安倍首相が掲げる憲法改悪を押し進めようと、憲法を変えるための手続き法案を与党は審議もつけないまま強行に採決したことは絶対にゆるされることではない。

私達国民のいのちと暮らしに関わる重要な憲法を変える手続き法にも関わらず、法案の内容は、最低投票率はもっていない、有料意見広告が野放し、公務員や教員の運動規制など、はじめてから憲法を変えることが前提で戦争する国づくりを狙う改憲派が有利になるための法案である。

多くの国民が慎重審議を訴え、中央・地方公聴会でも問題点が指摘されているにも関わらず、与党が今回の暴挙に及んだ事は、改憲勢力が危機感を募らせた焦りの結果である事は間違いない。

私達全労連・全国一般労働組合は、本日の強行採決を歴史に残る暴挙として絶対に許さず、日本が海外でも国内でも戦争をする国にならないために、憲法を守り生かすための運動を一層強める事を改めて表明する。

全国一般女性センター第8回総会が開催されました



5月19日～20日、昔は鋳物の町、今は中小企業の町の埼玉県川口市で、全国一般女性センター第8回総会が開催されました。二日間で延べ40名、宮城からは3名で参加しました。

まずは、記念講演で「靖国神社と遊就館」と題して、大山勇弁 護士にスライドを使って、靖国の成り立ちや精神などを説明していただきました。明治3年に「東京招魂社」として創設され、天皇のために戦って亡くなった軍人・軍属や、いわゆる「A級戦犯」として刑死した政治指導者を祀っているそうです。しかし、空襲や原爆などで亡くなったり、沖縄戦で亡くなった民間人などは含まれないのです。

戦争を否定するのではなく、逆に正当化し、賛美して天皇のために死んだもののみ選別し祀っているのです。更に、その死を褒め称え、生きてる人に「その死をみならえ」というメッセージを発している施設なのです

普通の神社の考え方と異なり、国家神道の考え方で天皇に命を奉げることが尊い生き方、美しい生き方として、靖国神社は戦争遂行のために利用された。戦前も、戦後も、今もその歴史観は変わっていないそうです。講演終了後、総会に入り議案の提案・質疑・討論、各地方組織の報告などがあり、新役員を選出して終了しました。



2日目、靖国神社・遊就館の見学です。雲ひとつない青空の中、緑いっぱいの神社の大鳥居から本殿に向かってまっすぐの広々とした空間があり、本殿まで見渡す事ができます。本殿前では昔の憲兵姿のお年寄りが軍旗を掲げて1人で儀式をしていましたが、まだ戦争当時の世界から抜けられないことが悲しくて異様な姿でした。戦時中に国の力を背景に軍需工場で作らせたり、樹齢千年の樹を柱に使ったりと、ただ見学に行っただけではわからない、いろんな「矛盾点」を説明してもらいながら大急ぎで見学しました。遊就館は本当に軍事博物館で、戦闘機や魚雷などがいっぱい展示されていて、戦争の歴史が遺品と共に解説されていました。しかし、不都合な部分はカットし、国のため、家族のため、愛する人のために戦ったことのみを強調した展示方法は、近代史をまともに学習しないで見学すれば、戦争は仕方なかったこと、国のため戦うことがカッコよいと感動する若者も出てくると思います。「歴史教育」の大切さを感じました。今「靖国派」といわれる政治家が「戦争をする国」づくりを目指し動いていますが、何故「靖国派」といわれるかがよくわからなかったのですが、今回の学習と実際に靖国・遊就館を見学して、納得しました。



宮城一般女性センターバスハイク

平泉・・・木立に囲まれた月見坂を散策レストハウス
でおいしい昼食をいただきます。

三万株のあやめが見事な毛越寺を見学して平泉
温泉で疲れを癒しましょう

7/1(日)

当日のスケジュール
仙台駅西口 大型バス発着所
8:30 集合 8:45 出発
宮城一般女性センターの旗が
目印です。

帰りは、仙台駅に
夕方5時半ころ着(予定)

参加費：3,000円(昼食代など含む)
申し込み
6月20日1次 〆きりです。

